

FUJITSU Software

Interstage Information Integrator Enterprise Edition V11a (V11.3.3)

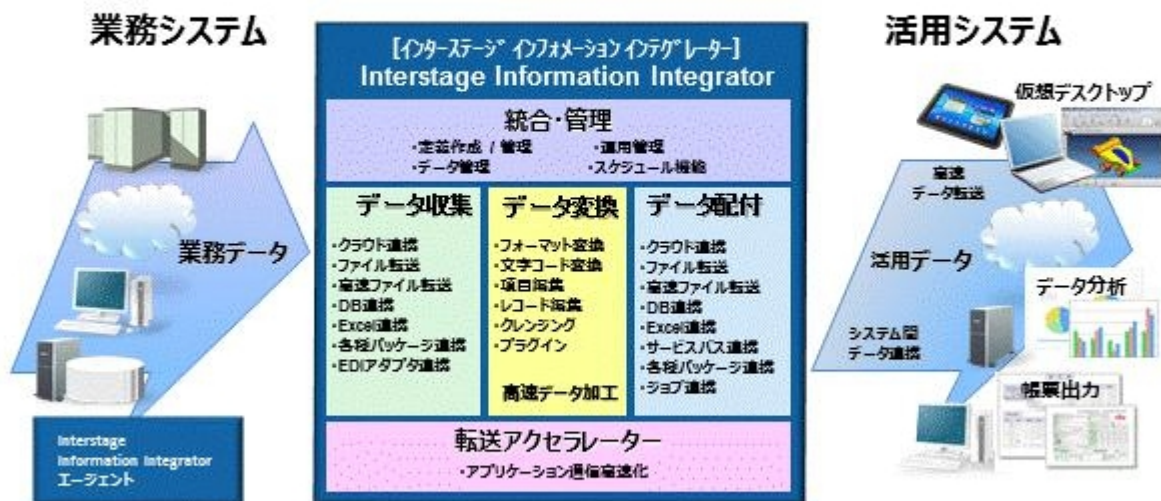
Interstage Information Integrator エージェント V11a (V11.3.3)

Interstage Information Integrator Enterprise Edition は、Interstage Information Integrator Standard Editionの機能に加えて、サーバに搭載されているマルチコア、大量メモリを有効に活用する動的パフォーマンス最適化技術により、データ量や形式の増加に影響されない情報利活用を実現します。

Interstage Information Integrator Enterprise Editionは、Syncsort（本社：米国）の「DMExpress」を、Interstage Information Integratorに組み入れ、上位エディションとして提供するものです。

Interstage Information Integrator エージェントは、Interstage Information Integrator Standard / Enterprise Edition V11の連携先業務システムにおけるデータの収集・配付処理の構築・運用を支援します。

。



- **Interstage Information Integrator Enterprise Edition サーバ**

SPARC Servers / SPARC Enterprise Mシリーズ / SPARC Enterprise Tシリーズ / FUJITSU Cloud Service for SPARC

- **Interstage Information Integrator エージェント**

SPARC Servers / SPARC Enterprise Mシリーズ / SPARC Enterprise Tシリーズ / FUJITSU Cloud Service for SPARC

- **運用管理クライアント機能**

PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMERGY / FMV / マルチベンダーサーバ・クライアント / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Cloud Service for SPARC / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **定義クライアント機能**

PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMERGY / FMV / マルチベンダーサーバ・クライアント / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Cloud Service for SPARC / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **転送アクセラレーター機能**

SPARC Servers / SPARC Enterprise Mシリーズ / SPARC Enterprise Tシリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FUJITSU Cloud Service for SPARC

- **転送アクセラレーターのゲートウェイ機能 (他プラットフォームについては留**

意事項参照)

SPARC Servers / SPARC Enterprise Mシリーズ / SPARC Enterprise Tシリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FUJITSU Cloud Service for SPARC

- **転送アクセラレータークライアント機能**

FMV / マルチベンダーサーバ・クライアント / スマートデバイス(留意事項参照)

- **DMExpress GUI**

PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMERGY / FMV / マルチベンダーサーバ・クライアント

- **Interstage Information Integrator Enterprise Edition サーバ**

Solaris 11(64bit)

- **Interstage Information Integrator エージェント**

Solaris 11(64bit)

- **運用管理クライアント機能**

Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1

- **定義クライアント機能**

Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1

- **転送アクセラレーター機能**

Solaris 11(64bit)

- **転送アクセラレーターのゲートウェイ機能 (他プラットフォームについては留意事項参照)**

Solaris 11(64bit)

- **転送アクセラレータークライアント機能**

Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1 / スマートデバイス用OS(留意事項参照)

- **DMExpress GUI**

Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1

1. Interstage Information Integrator Enterprise Editionの機能範囲

Interstage Information Integrator Enterprise Editionは、Syncsort社の「DMExpress」を組み入れることにより、Interstage Information Integrator Standard Editionの機能に加え、以下の機能を提供します。

2. 用語の説明

・ Interstage Information Integrator サーバ

Interstage Information Integratorを利用するためのサーバ機能です。収集、変換、配付の一連の処理を行います。

・ Interstage Information Integrator Enterprise Editionサーバ

Interstage Information Integrator Enterprise Editionのサーバ機能です。

Interstage Information Integrator サーバと、DMExpressサーバを含みます。

・ Interstage Information Integrator エージェント

連携先のシステムで動作し、データの変換・収集を支援するInterstage Information Integratorのオプション製品の機能です。

・ 運用管理クライアント機能

Webブラウザを使用して、業務の実行に関する操作や運用状況の監視を行う機能です。

・ 定義クライアント機能

デザインシートや定義作成/管理GUIを使用して、定義作成、登録するための機能です。

・ 転送アクセラレーター機能

TCPアプリケーション通信の高速化を行う転送アクセラレーターのサーバ機能です。

・ 転送アクセラレーターのクライアント機能

転送アクセラレーター機能と接続し、クライアントアプリケーションの通信を高速化する機能です。クライアントアプリケーションが動作する機器に導入します。

・ 転送アクセラレーターのゲートウェイ機能

転送アクセラレーター機能と接続し、クライアントアプリケーションの通信を高速化する機能です。クライアントアプリケーションが動作する機器と転送アクセラレーター機能が動作するサーバとの間でゲートウェイとなるサーバに導入します。

・ DMExpressサーバ

高速データ加工のサーバ機能です。データ入力、加工、出力などのETL処理の「ジョブ」や、個々の独立したデータ処理単位の「タスク」の実行と監視ができます。

・ DMExpress GUI

Windows システムにインストールされ、高速データ加工の「ジョブ」や「タスク」の開発と起動を支援するグラフィカルインタフェースです。

3. 高速データ加工

DMExpress GUIを使って、あらゆるデータ変換アプリケーションの設計やスケジュール設定、管理ができます。

データレコードは、データベーステーブル、SAP システム、フラットファイル、XML ファイル、パイプ、バ

ツファ、メモリ内の個々のレコードのいずれからでも入力可能で、適切な出力に集計、結合、ソート、マージ、コピーできます。出力前に、レコードはフィルタリングまたはリフォーマット、あるいは変換が可能です。

レコードレイアウト、ビジネスルール、変換定義、実行履歴、データ統計を含むメタデータは、特定のタスク内またはセントラルリポジトリ内で管理できます。レコードレイアウトの変更によるアプリケーションへの影響は、影響分析や系統分析を実施することで判断できます。

データ変換は、サーバのデスクトップから直接実行したり、後で実行するようにスケジュール設定したり、バッチスクリプトで埋め込んだり、あるいは独自のプログラムで呼び出すことが可能です。

DMExpress GUIでは以下のグラフィカル・インターフェースを利用できます。

- ・タスクエディタ

個々のタスクの定義や特定、テストに使用します。

- ・ジョブエディタ

タスクをグループ化して即時実行あるいは後で実行、ならびに影響分析を行います。

- ・ [DMExpress サーバ] ウィンドウ

DMExpress サーバ上にあるジョブや環境変数、サーバグリッドに関する情報にアクセスできます。

- ・グローバル検索

ジョブとタスク全体に対して特定の値を検索します。

Interstage Information Integrator Enterprise Editionに含まれるInterstage Information Integrator Standard Editionの機能については、Interstage Information Integrator Standard Editionのソフトウェアガイドを参照してください。

4. Interstage Information Integratorの機能と商品の対応

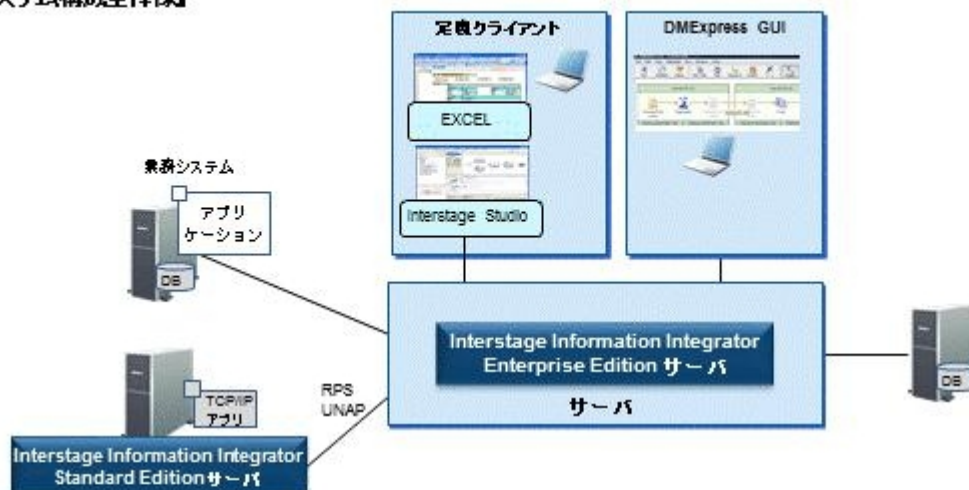
Interstage Information Integratorの機能と商品の対応は以下の通りです。

機能と商品の対応

項目		製品	Interstage Information Integrator Enterprise Edition	Interstage Information Integratorエージェント
収集/配付		ファイル転送	○	○(FTP+のみ)
		DB連携	○	○(ローカルのみ)
		Excelファイル連携	○	○
		クラウド連携	○	-
		帳票連携	○	-
		Interstage Information Storage連携	○	-
		業務パッケージ連携(SAP)	○	-
		EDIアダプタ連携(ACMS EDI-BASE)	○	-
		エンタプライズ・サービスバス連携	○	-
		高速ファイル転送	○	-
転送アクセラレーター			○	-
変換		文字コード変換、項目編集、レコード編集	○	○
		並列加工	○	-
統合・管理	定義クライアント	定義作成/管理GUI(III Studio)	○	-
		デザインシート	○	-
	運用管理	業務実行操作	○	-
		運用状況監視	○	-
データ管理			○	○
エージェント管理			○	-
スケジュール機能			○	-

○:サポート、-:サポート対象外

【システム構成全体像】

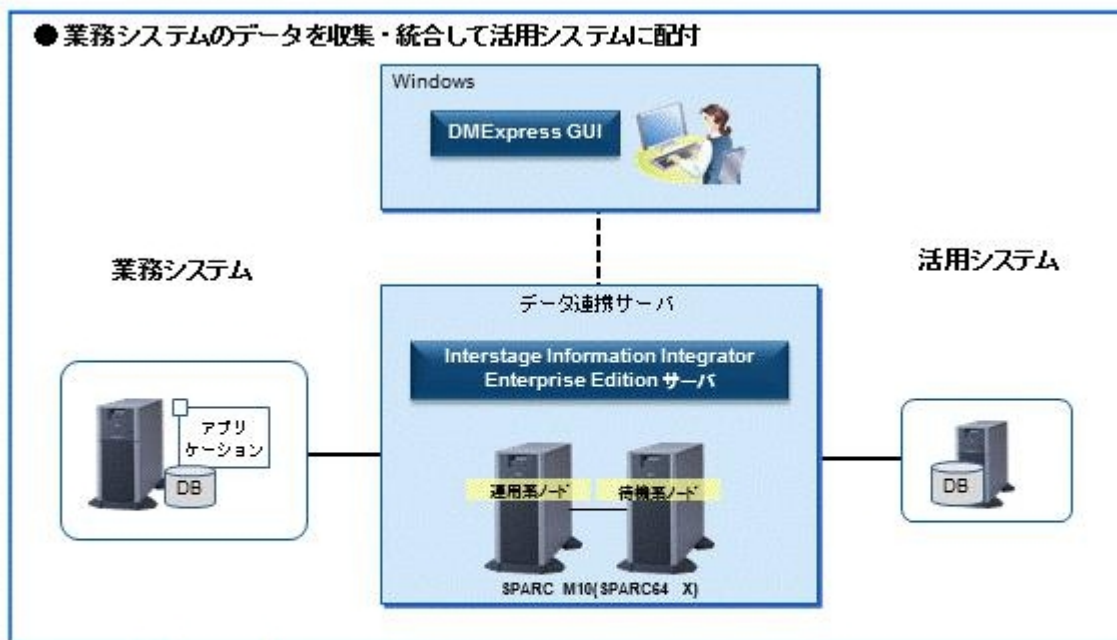


- Interstage Information Integrator Enterprise Editionは、Interstage Information Integrator Standard Editionの機能を含んでいます。Interstage Information Integrator Standard Editionに含まれるデータ収集・配布の機能を利用する場合のシステム構成については、Interstage Information Integrator Standard Editionのシステム構成を参照してください。
- Interstage Information Integrator Standard Editionは、Interstage Information Integrator Standard Editionに含まれる高速ファイル転送機能または転送アクセラレーター機能を利用してデータ収集を行う場合、収集元のサーバに導入します。

Interstage Information Integrator Enterprise Edition、Interstage Information Integrator Standard Editionを組み合わせたシステムの構成例を以下に示します。

【構成例1】 Interstage Information Integrator Enterprise Edition のみ適用

● 業務システムのデータを収集・統合して活用システムに配付

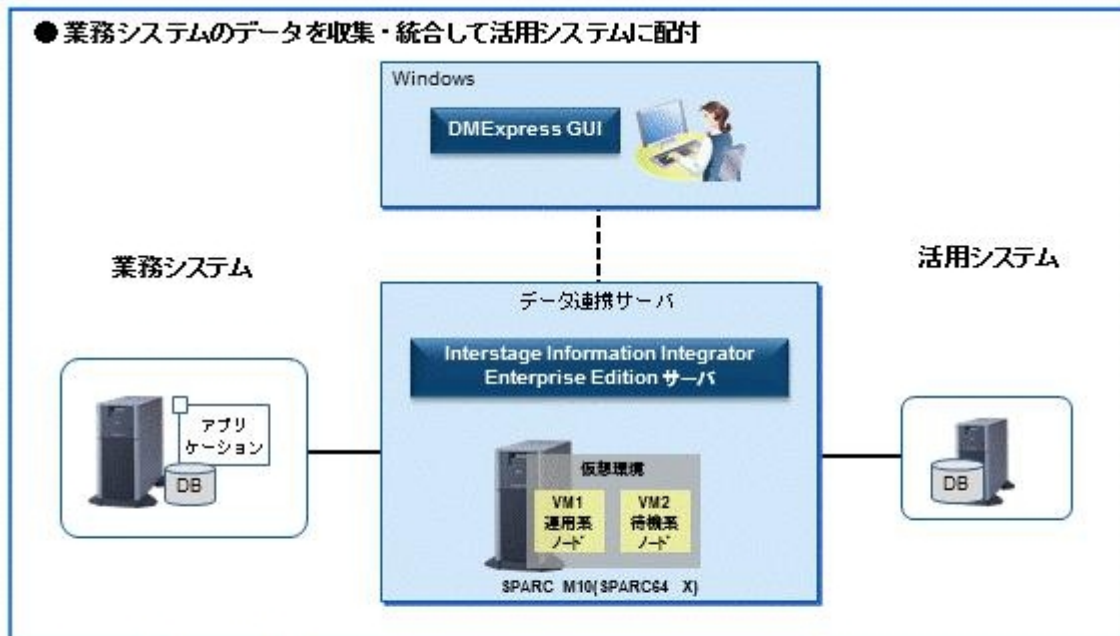


■ 推奨品 ■ 必須製品 ■ 関連製品

- DMExpress GUIは、Interstage Information Integrator Enterprise EditionサーバがWindowsサーバである場合、同一のサーバへの導入が可能です。
- 1台のDMExpress GUIに対し、複数台のInterstage Information Integrator Enterprise Editionサーバを接続して使用することが可能です。

【構成例2】 Interstage Information Integrator Enterprise Edition のみ適用 (仮想環境利用時)

● 業務システムのデータを収集・統合して活用システムに配付



当製品

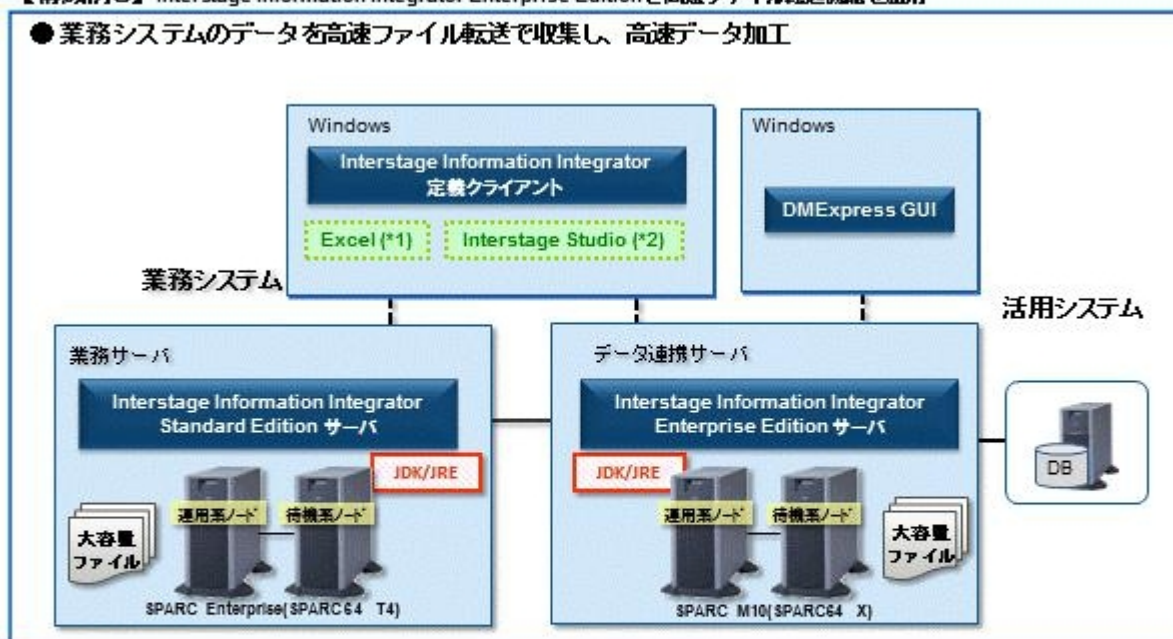
必須製品

関連製品

- DMExpress GUIは、Interstage Information Integrator Enterprise EditionサーバがWindowsサーバである場合、同一のサーバへの導入が可能です。
- 1台のDMExpress GUIに対し、複数台のInterstage Information Integrator Enterprise Editionサーバを接続して使用することが可能です。

【構成例3】 Interstage Information Integrator Enterprise Editionと高速ファイル転送機能を活用

● 業務システムのデータを高速ファイル転送で収集し、高速データ加工



当製品

必須製品

関連製品

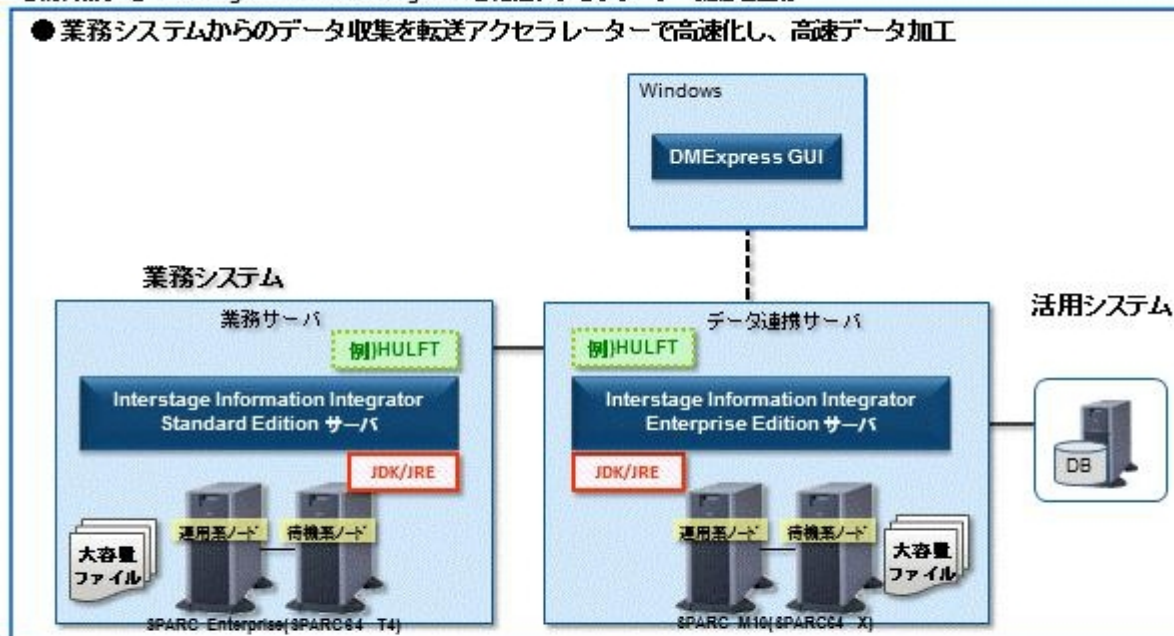
*1: デザインシートを使用する際に必要

*2: 定義作成管理GUI(III Studio)を使用する際に必要

- 定義クライアントは、Interstage Information Integratorサーバと同一のサーバへの導入が可能です。
- 1台の定義クライアントに対し、複数台のInterstage Information Integratorサーバを接続することが可能です。また、1台のInterstage Information Integratorサーバに対し、複数台の定義クライアントを接続することも可能です。ただし、いずれの場合も同時に複数台接続して使用することはできません。
- DMExpress GUIは、Interstage Information Integrator Enterprise EditionサーバがWindowsサーバである場合、同一のサーバへの導入が可能です。
- 1台のDMExpress GUIに対し、複数台のInterstage Information Integrator Enterprise Editionサーバを接続して使用することが可能です。

【構成例4】 Interstage Information Integrator と転送アクセラレーター機能を活用

● 業務システムからのデータ収集を転送アクセラレーターで高速化し、高速データ加工



主製品

必須製品

関連製品

- DMEExpress GUIは、Interstage Information Integrator Enterprise EditionサーバがWindowsサーバである場合、同一のサーバへの導入が可能です。
- 1台の DMEExpress GUIに対し、複数台のInterstage Information Integrator Enterprise Editionサーバを接続して使用することが可能です。

V11.3.0からV11.3.3の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. Windows Server 2019サポート

【Interstage Information Integrator Enterprise Edition】

Windows Server 2019上での動作をサポートいたします。

- 運用管理クライアント機能
- 定義クライアント機能

2. 関連製品の対応

【Interstage Information Integrator Enterprise Edition】

【Interstage Information Integrator エージェント】

以下の関連製品の新しいバージョンに対応します。

- ・ Symfoware Server Enterprise Edition V12.6.0
- ・ Symfoware Server Standard Edition V12.6.0
- ・ Symfoware Server Enterprise Extended Edition V12.6.0
- ・ Oracle Database Enterprise Edition 19c
- ・ Oracle Database Standard Edition2 19c

・ オンラインマニュアル

- ・ Interstage Information Integrator システム設計ガイド
- ・ Interstage Information Integrator セットアップガイド
- ・ Interstage Information Integrator 運用ガイド
- ・ Interstage Information Integrator コマンドリファレンス
- ・ Interstage Information Integrator メッセージ集
- ・ Interstage Information Integrator 転送アクセラレーターセットアップガイド
- ・ Interstage Information Integrator マニュアル体系と読み方
- ・ Interstage Information Integrator リリース情報
- ・ Interstage Information Integrator 用語集
- ・ Interstage Information Integrator ESB連携機能導入運用ガイド
- ・ DMExpress ActiveX ご案内
- ・ DMExpress ActiveX 参照
- ・ DMExpress シェル関数参照
- ・ DMExpress API参照
- ・ DMExpress 標準的アプリケーション

【メディア】

- ・ Interstage Information Integrator Enterprise Edition メディアパック (64bit) V11a (V11.3.3) (注1) (注2)
- ・ Interstage Information Integrator エージェント メディアパック (64bit) V11a (V11.3.3) (注2)

【ライセンス】

- ・ Interstage Information Integrator Enterprise Edition 運用ノード コアライセンス V11a
- ・ Interstage Information Integrator Enterprise Edition 待機ノード コアライセンス V11a
- ・ Interstage Information Integrator エージェント プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付) V11a ()
- ・ Interstage Information Integrator 1クライアントライセンス (1年間24時間サポート付) V11a ()
- ・ Interstage Information Integrator 20クライアントライセンス (1年間24時間サポート付) V11a ()

:本商品のライセンス製品には、初年度の「SupportDesk Standard」がバンドルされています。

注1) 本メディアは以下のコンポーネントを含みます。

- Interstage Information Integrator 定義クライアント
- Interstage Information Integrator クライアント
- Interstage Information Integrator 転送アクセラレーター機能
- Interstage Information Integrator 転送アクセラレーターのゲートウェイ機能
- Interstage Information Integrator 転送アクセラレーターのクライアント機能

注2) 本メディアは以下のコンポーネントを含みます。

- Interstage Information Integrator 運用管理クライアント

1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体（DVD）のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。バージョンアップ/レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下のとおりに必要となるライセンスです。

- ・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサ（CODモデルの場合はCPU RTUライセンスを持つ稼働CPU）あたり1本の購入が必要です。
- ・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

- SPARC M10では、CPUコアアクティベーションキーにより有効化されたコアの総数に特定の係数を乗じます。

- SPARC Enterprise/PRIMEPOWERのCODモデルでは、CPU RTUライセンスを持つ稼働CPU上のコアの総数に特定の係数を乗じます。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「FUJITSU Software（インフォメーション&ダウンロード）」内、「富士通製ミドルウェア商品のライセンス体系について」を参照ください。

3. コアライセンスについて

Interstage Information Integrator Enterprise Editionの導入にあたり、運用ノード コアライセンスを購入する必要があります。

Interstage Information Integrator エージェントをご使用される場合は、別途、Interstage Information Integrator エージェント プロセッサライセンスを購入してください。

(1) コアライセンスとは

コアライセンスは、サーバに搭載され稼働しているコア数分の購入が必要なライセンスです。

(2) クラスタシステムで運用する場合

運用ノードでは、サーバに搭載され稼働しているコア数分の運用ノードコアライセンスの購入が必要です。

また、待機ノードでは、運用ノードとして稼働する可能性のあるコア数分の待機ノードコアライセンスの購入が必要です。

なお、本商品でサポートするクラスタ構成は、1対1運用待機形態です。

4. クライアントライセンスについて

転送アクセラレーターのクライアント機能を利用するために必要となるライセンスです。

ただし、転送アクセラレーターのゲートウェイ機能はインストールフリーです。

Interstage Information Integrator Enterprise Editionをインストールしたサーバに接続し、高速なデータ転送を行うクライアント機能が動作する機器（Windows PCやスマートデバイス）の台数分、Interstage Information Integrator のクライアントライセンスが必要です

本ライセンスは、Windows、Linux、Solaris共通ライセンスです。

5. エージェントのプロセッサライセンス購入に関する注意事項

Interstage Information Integratorエージェントは導入する先の業務システムのプラットフォームに合わせた製品を購入してください。

6. 運用管理クライアント機能について

運用管理クライアント機能は、Interstage Information Integrator Enterprise Editionサーバに接続して、業務の実行操作や運用状況の監視を行うことができます。
台数に関係なくサーバに接続して使用できます。

7. 定義管理クライアント機能・DMExpress GUIについて

定義管理クライアント機能・DMExpress GUIは、インストールフリーです。

8. 購入例

以下システム構成の場合、購入対象商品と購入数は下記のようになります。

注1: コア係数とは、マルチコアプロセッサにおける、コア総数に乗じる係数です

注2: 小数点以下は切り上げ

【構成例1】 Interstage Information Integrator Enterprise Editionのみ使用する場合

Interstage Information Integratorサーバの導入サーバ(SPARC64X 1CPU構成)クラスタ運用 :1台

コア搭載数 : 16

アクティベーションを適用(有効化)したコア数 : 8

DMExpress GUIの導入PC:1台

〔対象製品と購入数〕

・ Interstage Information Integrator Enterprise Edition メディアパック (64bit) V11a
インストール作業に必要な枚数

・ Interstage Information Integrator Enterprise Edition 運用ノード コアライセンス V11a

1)1台毎のコア総数 × マルチコア係数

1CPU × 8コア × コア係数(注1)

(2)必要ライセンス数

(1)で算出した値(注2) × サーバ台数(1台)

・ Interstage Information Integrator Enterprise Edition 待機ノード 1)1台毎のコア総数 × マルチコア係数

1CPU × 8コア × コア係数(注1)

(2)必要ライセンス数

(1)で算出した値(注2) × サーバ台数(1台)

【構成例2】 Interstage Information Integrator Enterprise Editionのみ使用する場合(仮想環境利用時)

Interstage Information Integratorサーバの導入サーバ(SPARC64X 1CPU構成)クラスタ運用 :1台

コア搭載数 : 16

ソフトパーティション(VM1またはVM2)に割り当てられた仮想プロセッサ数(物理コアに対応) : 4

DMExpress GUIの導入PC:1台

〔対象製品と購入数〕

・ Interstage Information Integrator Enterprise Edition メディアパック (64bit) V11a
インストール作業に必要な枚数

・ Interstage Information Integrator Enterprise Edition 運用ノード コアライセンス V11a

1)1台毎のコア総数 × マルチコア係数

1CPU×4コア×コア係数(注1)

(2)必要ライセンス数

(1)で算出した値(注2)×サーバ台数(1台)

・ Interstage Information Integrator Enterprise Edition 待機ノード コアライセンス V11a

1)1台毎のコア総数×マルチコア係数

1CPU×4コア×コア係数(注1)

(2)必要ライセンス数

(1)で算出した値(注2)×サーバ台数(1台)

【構成例3】 Interstage Information Integrator Enterprise Editionと高速ファイル転送機能を適用
Interstage Information Integrator Enterprise Edition サーバの導入サーバ(SPARC64X 1CPU構成)クラスタ運用:1台

コア搭載数 : 16

アクティベーションを適用(有効化)したコア数 : 16

Interstage Information Integrator Standard Edition サーバの導入サーバ(SPARC T4 1CPU構成)クラスタ運用:1台

コア搭載数 : 8

Interstage Information Integrator定義クライアントの導入PC :1台

〔対象製品と購入数〕

・ Interstage Information Integrator Enterprise Edition メディアパック (64bit) V11a

インストール作業に必要な枚数

・ Interstage Information Integrator Standard Edition メディアパック (64bit) V11a

インストール作業に必要な枚数

・ Interstage Information Integrator Enterprise Edition 運用ノード コアライセンス V11a

1)1台毎のコア総数×マルチコア係数

1CPU×16コア×コア係数(注1)

(2)必要ライセンス数

(1)で算出した値(注2)×サーバ台数(1台)

・ Interstage Information Integrator Enterprise Edition 待機ノード コアライセンス V11a

1)1台毎のコア総数×マルチコア係数

1CPU×16コア×コア係数(注1)

(2)必要ライセンス数

(1)で算出した値(注2)×サーバ台数(1台)

・ Interstage Information Integrator Standard Edition プロセッサライセンス V11a

1)1台毎のコア総数×マルチコア係数

1CPU×8コア×コア係数(注1)(*)(待機系のライセンスは不要)

(2)必要ライセンス数

(1)で算出した値(注2)×サーバ台数(1台)

【構成例4】 Interstage Information Integrator と 転送アクセラレーター機能を適用

Interstage Information Integrator Enterprise Edition サーバの導入サーバ(SPARC64X 1CPU構成) :1台

コア搭載数 : 16

アクティベーションを適用(有効化)したコア数 : 16

Interstage Information Integrator Standard Edition サーバの導入サーバ(SPARC T4 1CPU構成) :3台

コア搭載数：8

DExpress GUIの導入PC:1台

〔対象製品と購入数〕

- ・ Interstage Information Integrator Enterprise Edition メディアパック (64bit) V11a
インストール作業に必要な枚数
- ・ Interstage Information Integrator Standard Edition メディアパック (64bit) V11a
インストール作業に必要な枚数
- ・ Interstage Information Integrator Enterprise Edition 運用ノード コアライセンス V11a

1)1台毎のコア総数×マルチコア係数

1CPU×16コア×コア係数(注1)

(2)必要ライセンス数

(1)で算出した値(注2)×サーバ台数(1台)

- ・ Interstage Information Integrator Standard Edition プロセッサライセンス V11a

1CPU×8コア×コア係数(注1)

(2)必要ライセンス数

(1)で算出した値(注2)×サーバ台数(3台)

9. ダウングレード使用（旧バージョン または 旧レベル商品の使用）について

本商品のライセンスでは、ダウングレード使用（本商品の旧バージョン または 旧レベルを使用）する権利はありません。

対象のバージョン または レベルを使用する場合は、対象のバージョン または レベルに対応したライセンスをご購入ください。

1. クラスタ運用を行う場合

クラスタ運用を行う場合は、以下のいずれかの商品が必要です。

本商品でサポートする待機形態は、1対1運用待機です。

- ・ PRIMECLUSTER 4.2以降

2. 上記以外の関連ソフトについて

Interstage Information Integrator Standard Editionのソフトウェア・ガイドを参照してください。

1. Windows サーバOS (64-bit)上での動作

定義クライアント、運用管理クライアント、転送アクセラレーター機能、転送アクセラレーターのゲートウェイ機能およびDMEExpress GUIは、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32bitアプリケーションとして動作します。

- Windows 10(64-bit)
- Windows 8.1(64-bit)

注) Windows 32-bit On Windows-64bit

2. Windows デスクトップOS(64-bit)での動作

本商品は、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32bitアプリケーションとして動作します。

- Windows 10(64-bit)
- Windows 8.1(64-bit)

注) Windows 32-bit On Windows-64bit

3. Intel64環境での動作について

本商品は、以下のディストリビューションの環境で64ビットアプリケーションとして動作します。

- Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)
- Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)

4. IPv6での動作についての注意点

IPv6/IPv4デュアルスタック環境での運用のみをサポートします。

5. インストールについて

本商品はDVDで提供されます。

インストールにはDVDドライブユニットが必要です。

DVDドライブユニットが搭載されていないマシンの場合は、別途、手配が必要です。

なお、DVDドライブユニットが搭載できない場合は、DVDドライブユニットが搭載されているサーバ (PRIMEQUEST、PRIMERGYまたはFMV等) のDVDドライブをネットワークドライブとして割り当て後、ネットワーク経由でインストールしてください。

6. スマートデバイスを利用した運用について

本商品の転送アクセラレーターのクライアント機能は、スマートデバイスでのアプリケーションを利用した運用に対応しています。

詳細は、「関連URL」に記載の「富士通ソフトウェア情報(スマートデバイスにおける動作条件)」を参照してください。

なお、スマートデバイスを利用した運用についての留意事項を以下に記述します。

(1)内蔵メモリ、データフォルダ容量について

内蔵メモリ容量 : 1GB以上推奨

データフォルダ容量 : 30MB以上

(2)スマートデバイスへの導入

以下のいずれかの方法により、スマートデバイスにInterstage Information Integrator Enterprise Editionメディアパック内の転送アクセラレーターのクライアント機能を導入する必要があります。

-転送アクセラレーターのクライアント機能を電子メールで各スマートデバイスへ配付してインストール

-転送アクセラレーターのクライアント機能をお客様の管理部門にてWebサーバで公開し、スマートデバイスへダウンロードしてインストール

(3)必須ソフトウェア

通信先の業務サーバに以下の製品を導入する必要があります。

- Interstage Information Integrator Enterprise Edition V11a

7. 転送アクセラレータのゲートウェイ機能の適応機種/適応OSについて

本資料冒頭の適用機種 / 適応OSの他に以下にも適応します。

【適応機種】

PRIMEQUEST 3000シリーズ

PRIMEQUEST 2000シリーズ

PRIMERGY

FMV

マルチベンダーサーバ・クライアント

【適応OS】

Windows Server 2019(64-bit)

Windows Server 2016(64-bit)

Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)

Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)

8. 旧版との差異

V11.3.3より、以下のOSはサポート対象外となります。

- ・ Interstage Information Integrator Enterprise Edition サーバ
- ・ Interstage Information Integrator エージェント
- ・ 転送アクセラレータ機能
- ・ 転送アクセラレータのゲートウェイ機能

- Solaris 10

- ・ 定義クライアント機能
- ・ 転送アクセラレータのクライアント機能

- Windows 7
 - Windows Server 2008
 - Windows Server 2008R2
 - Windows Server 2012
 - Windows Server 2012R2
-

9. 上記以外の留意事項について

Interstage Information Integrator Standard Editionのソフトウェアガイドを参照してください。

お客様向けURL

- **FUJITSU Software (Interstage Information Integrator)**

本商品の詳細は、以下のInterstageホームページを参照してください。

<http://www.fujitsu.com/jp/products/software/middleware/business-middleware/interstage/products/infointegrator/>

- **FUJITSU Software (スマートデバイスにおける動作条件)**

スマートデバイスでの動作条件情報を提供しております。

<http://www.fujitsu.com/jp/software/smartdevice/>

- **FUJITSU Software (インフォメーション&ダウンロード)**

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>